

県高校総体を振り返って



女子団体戦で優勝した生光学園の選手＝鳴門ソイジョイ武道館

有観客、士気上向く

7日に全日程を終えた第62回徳島県高校総体育大会(県教委、県高体連主催、徳島新聞社後援)には37校から7573人が参加し、四国で24年ぶりに開催される全国高校総体(インターハイ)の出場権を懸けて、32競技で熱戦が繰り広げられた。モチベーションも高まった。

5日、鳴門ボカリスエ父母と一緒に帰宅する竜田は女子1500kgで2ットスタジアムでは、陸田そら(鳴門高2年)の位になり、四国選手権出上の応援に駆け付けた祖姿があった。この日、竜田場を決めた。「明日も頑

苦境に耐え実力発揮

各競技の優秀選手

競技	【男子】	【女子】
陸上	仁木星之介(生光学園)	川口 由真(生光学園)
水泳	笠谷 勇仁(徳島市立)	山本 果琳(徳島科技)
体操	木下 桜(小松島)	本田 未来(徳島市立)
新体	大坪 幸生(小松島)	林 朋奈(生光学園)
卓球	竹内 聖貴(徳島商)	高木 陽菜(城南)
バスケットボール	佐々木 夏(城東)	小原みなみ(富岡東)
バレーボール	佐々木一成(城東)	北山菜々々(富岡東)
ソフトテニス	山崎 碧斗(つるぎ)	逸見 真子(脇町)
サッカー	織田 大翔(徳島市立)	後藤 希凜(鳴門渦潮)
ラグビー	浅尾 至首(城東)	宗實 優奈(鳴門渦潮)
ソフトボール	井上 雄介(城南)	奥井 日晴(池田辻)
相撲	安田 剛(名西)	佐藤 杏(生光学園)
柔道	長瀬 拳悟(阿波)	谷村 七海(富岡東)
剣道	橋本 青空(富岡西)	根来 夏稔(徳島市立)
弓道	南 優来(鳴門渦潮)	岡田 葵(鳴門渦潮)
重量挙げ	月岡 志龍(鳴門渦潮)	戸澤 愛(池田)
レスリング	中平 晴人(池田)	郷田 聖奈(池東)
登山	野田 知秀(城ノ内)	金澤 志歩(城東)
バドミントン	川原 光騎(徳島商)	齋藤 伽瑛(池田)
ハンドボール	柳田 洋希(徳島市立)	
ホッケー	大久保 碧都(阿南光)	
自転車	白井 省伍(小松島西)	坂口 実夢(徳島商)
テニス	早見 天斗(城南)	泰地 陽詩(城南)
ライフル射撃	戸田 陽翔(小松島)	曾我 柚月(城南)
空手道	新宮 旭飛(徳島科技)	
ボクシング	坂東 暁(吉野川)	
カヌー	秋田 岳(那賀)	
なぎなた		小林 真姫(那賀)
フェンシング	林 正太郎(徳島文理)	福永 珠緒(鳴門)
アーチェリー	糺 いさみ(徳島科技)	蔵本 奈央(城ノ内)
ポーター	布川 涼(徳島市立)	横野 結子(徳島科技)
少林寺拳法	吉本誠一朗(城西)	武岡 咲那(徳島市立)
		吉本 陽香(徳島北)

張りよ。祖母からエールを受けて臨んだ翌日の女子800kg。スタンドに訪れた祖母の目の前で、今度は優勝を果たした。陸上は昨年、無観客で開催された。今年も四国選手権、インターハイともに鳴門ボカリスエットスタジアムである。竜田は「家族が見に来てくれたことが力になった。四国選手権でも結果を出し、地元インターハイで頑張る姿を見せたい」と語った。柔道も3年ぶりに保護者らの入場を認めた。4日、福岡県筑前町から孫の牛方美羽(生光学園高)の検温、手指消毒など感染対策を徹底。現時点で大きなトラブルは確認されず、対策は一定の成果を挙げたといえる。今後の感染状況次第だが、全国高体連はインターハイを有観客で実施すると5月に発表している。保護者や関係者が応援に訪れやすい四国開催だけに、県勢の活躍を期待したい。(軍士佳輝)

優秀選手 59人決定

7日に全日程を終えた第62回県高校総体で、全32競技の優秀選手59人が決まった。受賞者は(別表)の通り。